

# しあわせ

vol.29  
2025年4月



## 【巻頭言】2025年度を迎えて

社会福祉法人 京都社会事業財団 理事長 野口 雅 滋

## 各施設の令和7年度 事業計画

### 法人本部事務局より

- 天皇陛下から御下賜金を賜りました
- ひだまり保育園の運動会を開催しました

### 外国籍労働者の受入について

高齢事務センター センター長 阿部 裕 光

## 「梅宮大社の花菖蒲」

梅宮大社は桂川の東、松尾大社や嵐山からも近い場所にある古い社。梅の名所としても、酒造の神様や安産、子宝神社などとしてもそのご利益が知られている神社です。

3000坪という広大な敷地を誇る池泉式回遊庭園「神苑」があり、そこには伊勢系・江戸系・肥後系の花菖蒲が植えられ、例年5月下旬～6月中旬に紫、紫紺、白色などの花を咲かせ見ごろを迎えます。神苑には散策路が整備されており、散策しながら花菖蒲を楽しむことができます。

「トラベル.jp ウェブサイト」より

## 各施設の所在地

京都桂病院  
京都厚生園  
にしごも舟山庵  
にしごも透析クリニック  
西陣病院  
京都からすま病院  
北野保育園  
成逸センター  
にしごも舟山庵  
にしごも透析クリニック  
京都からすま病院  
成逸センター  
北野保育園  
西陣病院  
つばさ園・ももの木学園  
くりの木ホーム  
ゆずの木ホーム  
榎の木ホーム  
松陽児童館  
ライフ・イン京都  
二条保育園  
二条保育園  
昭和保护園  
京都桂川園  
京都桂川園久世障害サービスセンター・ショートステイ

法人職員 2,500名

社会福祉法人 京都社会事業財団  
Kyoto Social Welfare Foundation

社会福祉法人 京都社会事業財団  
Kyoto Social Welfare Foundation

法人本部 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地(京都桂病院内) TEL075-391-5811代 / FAX075-393-0140  
URL <https://kyoto-swf.com> E-mail [honbu@kyoto-swf.com](mailto:honbu@kyoto-swf.com)

季刊広報誌 しあわせ 発行/社会福祉法人 京都社会事業財団 編集/法人本部事務局 発行日/2025年4月25日 印刷/有限会社 アクト

# 2025年度を迎えて



社会福祉法人京都社会事業財団  
理事長 野口雅滋

年度がかわって2025年度になりました。年が明けた1月からは1950+75の2025年になっています。団塊の世代とは1947年から49年生まれの人をいいますが、1950年生まれの人75歳になる、つまり団塊の世代の人は全員75歳以上になるのが2025年です。団塊の世代3年間の出生数が806万人なので、医療・介護を必要とする人が激増するため、この2025年を目標に多くの施策が検討されてきました。でもそれは、医療・介護を提供する側からすれば、まだ「明るい」問題でした。

今、検討されているのは2040年問題です。2025年に後期高齢者になった団塊の世代の人が、全員90歳以上になります。認知症の人も増えるでしょうから、医療というよりは介護の需要が一層増加します。それを支えるべき生産年齢の人達を、現在の定義通り65歳までとすると、団塊の世代の子供世代（団塊ジュニア）が全員65歳以上になるのも2040年なので、支える人数が激減していくこととなります。

物理的に医療・介護を支えるというだけでなく、医療・介護などの社会保障費も増大するので、財政的にも支える人達のボリュームが減ることが問題になります。65歳以上の人はまだまだ元気なので、働く側に残ってもらうことが必要です。女性や外国籍の人達の雇用も大切になります。当法人でも多くの外国籍の方が働いておられますが、それだけで人手不足を解消できるとは思えません。

日本の将来人口推計は、国が発表する低位予測と軌を一にして推移しています。2024年の年間出生数は72万988人で、過去最少となりました。人口減が加速するなか、医療・介護・福祉で働く人材を、他業種と競って多く獲得できるとはとて考えられません。介護職に限っても、2040年には272万人必要なのに、57万人不足すると言われています。

厚生労働省が「生産性向上」と呼ぶ、医療・介護現場へのIT機器導入は今後必須となります。現在も、見守り機器使用や介護記録の音声入力など、ITを用いての業

務効率化を当法人の高齢施設の一部で導入しています。どこまで業務の効率化が図れるかはまだ不明ですが、この取り組み無くして、サービス提供の安定的継続は不可能です。今後もっと広範にIT機器の導入に取り組んでいかなければなりません。

現在、社会を担っている人達は、人口を含め日本の種々の機能が「右肩上がり」の時代を生きてきた人達です。今後日本は人口だけでなく、「右肩下がり」の時代を生きていくこととなります。しかし、私たちが提供するサービスを必要とする人たちはまだまだ多い時代が続きます。どの様にすれば安心・安全にサービスを提供できるかは、その時代を担う人達が自分事として構想しなければなりません。2040年にリーダーとして時代を担っている人達が将来構想を描いて、その実現に努力して欲しいと思います。

2040年まであと15年です。社会福祉法人京都社会事業財団に属する施設群が、困難な時代を乗り越えていけるよう、皆さんの知恵を結集してください。

## 令和7年度 各施設の事業計画

### 西陣病院

**基本方針**  
一般診療と透析診療を中心に良質な医療を提供します。  
「地域に密着したケアミックス病院として高齢者に対する優しい医療を提供します。」  
「職員にとって働き甲斐のある職場環境をつくります。」



**重点項目**

- 1 高齢者の急性疾患に対する救急医療、病病連携、病診連携、施設との連携の強化
- 2 専門性の高い医療の提供（透析、心カテ、内視鏡、腹腔鏡手術、脊椎手術など）
- 3 人材確保（看護師の雇用促進）
- 4 DX化の推進

〒602-8319 京都市上京区五辻通六軒町西入溝前町1035  
TEL: (075) 461-8800 FAX: (075) 461-5514  
URL: <https://www.nishijnhp.com>  
E-mail: [nisijin@nisijin.net](mailto:nisijin@nisijin.net)

### 京都桂病院

**基本方針**  
がんの医療、高度急性期・急性期の医療、救急医療を柱として地域に質の高い医療を提供します。今年度は救急体制の充実と、連携強化により新入院患者数を増加させ、1か月あたり1250名の新入院を目標とします。また循環器についてはTAVIを導入しさらに最新治療も進め、新入院患者数を増加させ経営的安定を目指したいと考えます。



**重点項目**

- 1 救急からの新入院患者数増加を救急体制を強化することで実現させる
- 2 TAVIを開始し循環器最新治療を行い、脊椎脊髄センターをさらに充実させる
- 3 連携活動の強化で紹介患者による入院患者を増加させ経営的安定を図る

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地  
TEL: (075) 391-5811 FAX: (075) 381-4224  
URL: <https://www.katsura.com>  
E-mail: [info@katsura.com](mailto:info@katsura.com)

### にしがも透析クリニック

**基本方針**  
平成22年4月に開設した、にしがも透析クリニックの診療、運営を充実し、継続します。  
目標を「安定した維持透析と自立した日常生活への支援」とし、適正な透析の提供に努めます。  
医療安全管理、院内感染対策（新型コロナウイルス感染症：COVID-19）などの徹底を図ります。



**重点項目**

- 1 新規受け入れ増対策、透析回数減少、入院症例増加などへの対応
- 2 西陣病院、にしがも舟山庵、在宅医療に携わる医師や看護師、透析導入実施医療機関等との連携
- 3 災害対策、保守管理、物価上昇、診療報酬改定への対応

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3番地の1  
TEL: (075) 495-1131 FAX: (075) 495-1144  
URL: <https://nishigamo-hdc.jp/>  
E-mail: [nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp](mailto:nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp)

### 京都からすま病院

**基本方針**  
病院理念「思いやりのある医療の実現します」の下、地域における自院の役割や提供可能な医療サービスを院内外へ示すと共に安定した健全経営を目指す。  
安定した健全経営には必要の人材確保が必須であり、不足職種の人材確保に最大限の努力をすると同時に在職中の職員にとっても働きがいのある職場づくりに努める。



2024年度TQM活動発表者

**重点項目**

- 1 健全経営：①入院・外来稼働の向上 ②救急応需体制の充実 ③健診・ドックセンターの改善
- 2 選ばれる病院：①患者さんに ②地域に ③職員に
- 3 医療の質向上：①TQM活動の推進 ②チーム医療の推進 ③院内教育の推進

〒603-8142 京都市北区小山上総町14  
TEL: (075) 491-8559 FAX: (075) 492-4304  
URL: <https://www.karasuma-hp.com>  
E-mail: [info@karasuma-hp.com](mailto:info@karasuma-hp.com)

## 二条保育園

### 基本方針

地域の園の中でも建物が古い為、保育はもちろん、環境についても良い印象を与えられるように取り組む。

昨年度の畑の増設で食事をおいしくいただく事、今年度の砂場枠の新調を皮切りに外遊びや園外保育の充実を図り、生き生きとした日常を体感する。

法人3ヵ園合同研修が始まる。協力しより良い保育を目指し取り組む。



### 重点項目

- 1 3ヵ園合同研修受講を進め、保育に還元。
- 2 自園の良さにも気づき、積極的に保育に取り組む姿勢を大切にす。
- 3 子どもの育ちが家族の喜びに繋がるよう、丁寧に取り組む。

〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7番地  
TEL: (075) 841-0139 FAX: (075) 841-6019  
URL: <http://www.nijo-hoikuen.sakura.ne.jp>

## 北野保育園

### 基本方針

新園長のもと、京都社会事業財団3保育園の基本理念である「一人ひとりの子ども達が現在を生き生きと過ごし、豊かな未来をつくり出す力の芽を育む。」この理念を保育で具現化する取り組みを継続していく。



### 重点項目

- 1 法人3ヵ園の職員交流を深め、保育の深堀をして、より豊かな保育を目指す。
- 2 保育園で起こるあらゆる事象を速やかに職員間で共有し保育の一体感を図る。

〒602-8318 京都市上京区七本松通五辻上ル老松町103-60  
TEL: (075) 462-6491 FAX: (075) 462-9128  
URL: <https://www.kyoto-kitanohoikuen.jp/>

## 京都桂川園

### 基本方針

「今のしあわせと未来の希望を」「一人ひとりの利用者の人権を尊重し、利用者の人たちの主体性と自立性を守っていく」という基本理念に沿って、職員一人ひとりが、力を発揮し、支え合える職場環境を目指します。

老朽化に伴う施設整備及び生産性向上の取り組みを円滑に実施するために京都市・法人内の連携調整を強化します。



### 重点項目

- 1 働きがいのある組織づくり(育成方針・育成体制見直し)
- 2 経営基盤の充実への取り組み(効率化・ICT活用)
- 3 サービスの質の向上・維持・確保(マニュアル整備)
- 4 災害・感染症への対策
- 5 地域における公益的な取組の推進

〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32番地  
TEL: (075) 391-1675(代) FAX: (075) 391-1640  
URL: <https://katsuragawaen.com/>  
E-mail: [info@katsuragawaen.com](mailto:info@katsuragawaen.com)

## 京都厚生園

### 基本方針

「利用者・家族・地域住民・職員が「ここでよかった」と思える環境づくり」を継続していくために、特に「特養の老朽化対策のため設備整備計画」

「各事業継続に向けた取り組み」「人材確保・人材育成」「生産性向上」について重点的に取り組みます。



学生ボランティア「トロンボーンとユーフォニアムの愉快的音楽会」

### 重点項目

- 1 働きがいのある組織づくり(人材確保・人材育成)
- 2 経営基盤の充実(事業の継続に向けた取り組み)
- 3 サービスの質の向上・維持・確保(生産性向上)
- 4 災害・感染症等への対応
- 5 地域における公益的な取組の推進

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地  
TEL: (075) 391-7870 FAX: (075) 392-0191  
URL: <http://www.kyotokouseien.com/>  
E-mail: [kswf@kyotokouseien.com](mailto:kswf@kyotokouseien.com)

## 松陽児童館

### 基本方針

「おかえりなさいが待っている☆松陽児童館」をスローガンに、いくつになっても帰って来たいような温かい児童館を目指します。

地域のすべての子どもたちの健やかな育ちを援助する活動と子育て家庭の支援に努めます。学童クラブは今後も人数増加が続くため、安心安全を確保できるよう環境整備を行います。



### 重点項目

- 1 子育て支援
- 2 遊びを通じた子どもたちの健全育成
- 3 地域との連携
- 4 職員研修

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28  
TEL: (075) 392-6311 FAX: (075) 392-6312  
URL: <http://www.kyo-yancha.ne.jp/syouyou/index.html>  
E-mail: [syouyou@kyo-yancha.ne.jp](mailto:syouyou@kyo-yancha.ne.jp)

## 昭和保育園

### 基本方針

あそびを基調とした保育により、子どもの健やかな成長を手助けします。

子どもの数が少ない東山区において、子育て世帯が安心して暮らせるように子育て支援事業のさらなる充実を図ります。



### 重点項目

- 1 利用定員数を見直し、より異年齢間のつながりを大切にする
- 2 乳児等通園支援事業を実施し、未就園児が家族以外と関わる機会を提供
- 3 東山区の子育て交流会に定期的に参加し、地域に保育園の情報を発信
- 4 子どもが自然を体感できるように園庭を整備

〒605-0994 京都市東山区鞘町七条下ル一橋宮ノ内町15-4  
TEL: (075) 561-0091 FAX: (075) 561-0743  
URL: <https://www.showahoikuen.net>  
E-mail: [showa.renga@showahoikuen.net](mailto:showa.renga@showahoikuen.net)

## ライフ・イン京都

### 基本方針

中期計画に定めたスローガン「共に支えあい思いやりあふれるホームをつくる」を基に選ばれるホームを目指してサービスの質向上を図り、魅力あるホームづくりを行います。

また、開設40周年を翌年に控え、理念に基づき「ご入居者の方々に生きがいを再認識していただくホームであり続けるために、特に「豊かな生活環境づくり」に重点を置いて取り組みます。



### 重点項目

- 1 居室・共用設備の整備を行う
- 2 行催事や同好会活動支援等を生きがい、介護予防につなげる
- 3 働きがいのある組織づくりを目指し、法人他施設との連携による教育の充実と人材確保を図る
- 4 災害・感染症への対応としてBCPを活かした訓練を行うとともに、京都桂病院との連携を強める

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2  
TEL: (075) 381-1870 FAX: (075) 381-1899  
URL: <https://lifeinkyoto.or.jp>  
E-mail: [kswf@lifeinkyoto.or.jp](mailto:kswf@lifeinkyoto.or.jp)

## にしがも舟山庵

### 基本方針

法人内施設との就業規則の統一や高齢4施設協同による人材確保と育成の取り組みを進めると共に、国籍や年齢、経験等を問わず、自分の専門性や強みを活かして活躍できる組織の土台をつくる。引き続き、自分の意見を安心して言える組織風土づくり、職員の自律性の育成等により安定感のある働きがいのある組織を目指す。



### 重点項目

- 1 入居者が社会とのつながりを感じながら暮らせる
- 2 職員の身体的・心理的負担の軽減をはかる
- 3 福祉避難所の役割を果たせるように地域防災活動に積極的に参加する

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1  
TEL: (075) 495-1121 FAX: (075) 495-1161  
URL: <https://funayamaan.com/>  
E-mail: [funayamaan@room.ocn.ne.jp](mailto:funayamaan@room.ocn.ne.jp)

# 外国籍労働者の受入について

— 高齢・障害者施設での取り組み —

高齢事務センター  
センター長  
阿部 裕光

高齢・障害者施設で外国籍労働者の受入を始めたのは、平成30年頃のことです。今後、益々厳しくなるであろう介護人材確保を考えてのことでした。まずは、ご入居者や職員に慣れていただくことを目的に、ワーキングホリデー制度で来日された方の短期受け入れからスタートしましたが、はじめは「時間にルーズ」、「仕事への取り組み方が日本人と違う（良くも悪くもドライ?）」、そんなことばかりが目立ち、担当者（私）が不慣れなことあって、配属先から頻繁に問い合わせや確認の連絡が入っていました。それでも、現場の

職員の理解と協力により、また、時間の経過とともに、受入体制が整っていきました。

外国籍労働者の受入をはじめから約7年が経ち、当法人の高齢・障害者施設では、留学生アルバイトを含め外国籍労働者が20名以上となりました。国籍もネパール、ミャンマー、ベトナム、インドネシア、フィリピンなど様々です。人数が増えると、生活様式の違いから新たな課題も出てきましたが、それも楽しみながら支援していきたいと思っています。皆さん、これからもよろしくお願ひします。

## エピソード

「仕事が楽しい」と目を輝かせて言ってくれる

職場が明るくなった

われわれが忘れかけていた大切なことを教えてもらえた

料理を作ってきて他の職員に振舞ってくれる

通勤途上にわざわざ自転車を降りて、「おはようございます」と爽やかに挨拶してくれる

「利用者さんの洋服を片付けるとき、漢字が読めないからできない」ではなく「利用者さんの部屋番号も書いてみる」など、指導方法の見直しや業務改善を考えるきっかけとなった。

1234

## 定着支援

### 住居

令和6年10月 旧看護学生寮「桜寮」を職員寮に改修

- 部屋数：14室（約10畳・家具付・Wi-Fi完備）
- 共用設備：談話室・キッチン・トイレ・シャワールーム

### その他

- 日常生活のサポート
- 業務マニュアルの翻訳
- 翻訳アプリの活用
- 行事参加（交流）など



「ベビーシッター」みんなとお祝いしました

## ももの木学園

### 基本方針

今年度から定員が30名になります。施設全体で取り組む治療共同体的な支援のもと、虐待や発達障害の影響による心身の困難を抱えた子どもそれぞれにふさわしい養育と治療を模索します。そのために、施設内での多職種の協働と、外部関係機関との連携を丁寧に行います。念願の「ももの木教室」が5月から始動します。



### 重点項目

- 1 定員を維持して事業を継続する
- 2 生活—心理—医療—教育の専門性が有機的につながる個別のケアを行う
- 3 登校しづらい子どものための通級「ももの木教室」運営に協力する

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28  
TEL: (075) 381-3699 FAX: (075) 393-4316  
E-mail: momonoki@sage.ocn.ne.jp

## 令和7年度 各施設の 事業計画

## つばさ園

### 基本方針

今年度は社会的養育推進計画の後期1年目。「つばさ方式」をさらに深め、被虐待児支援を進めていきたいと考えています。また、虐待の初期段階から防ぐための子育て支援と、自立支援に力を入れていきたいと考えています。今年はず、児童自立生活援助事業を立ち上げ、成人年齢を超えても支えていきたいと思ひます。



### 重点項目

- 1 都道府県社会的養育推進計画の検討
- 2 被虐待児への支援
- 3 自立支援
- 4 地域小規模児童養護施設の支援の充実

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28  
TEL: (075) 381-3650 FAX: (075) 393-4316  
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp

## 法人本部事務局より

## ひだまり保育園の運動会を開催しました

ひだまり保育園は、京都社会事業財団で働く皆さまの子育てを支える保育園として運営しております。昨年度、園として初めて運動会を開催いたしました。当日は園児たちの元気いっぱいの姿に、保護者の皆さまからも多くの笑顔と温かい声をいただき、大変好評をいただきました。このような交流や成長の機会を大切に、今年度以降も引き続き運動会をはじめとした様々な取り組みを行っていく予定です。園児と保護者の皆さまの笑顔を広げる活動を、これからも一緒に育んでまいります。



## 天皇陛下から御下賜金を賜りました

御下賜金（ごかしきん）とは、社会福祉事業の奨励のため、優良な民間福祉事業施設や団体に対して、天皇陛下から下賜される金一封のことです。毎年、天皇誕生日（2月23日）に際しておこなわれますが、この度は当法人の児童心理治療施設ももの木学園に対して下賜されました。

